

角一ゴム争議の真相を發表し  
 嚴正なる町民諸賢の御批判に訴ふ

親愛なる浦江町民諸賢

炎天下夏祭を前に控へ浴衣姿で夕涼みを樂しもうとする今日私達は何故ストライキを起さなければならなかつたかに就いて一言御挨拶を申し上げたいと存じます。

既に御承知の如く最近の軍需インフレ景氣は徒らに生活必需品を暴騰せしめ労働者、俸給生活者の生活を困難ならしめ引いては小賣商人にも影響を與へて一般勤勞階級の關知しないもしくば惠まれな景氣として不満の聲高く實收賃銀の低下は重大なる社會問題として到るところ賃銀値上げが實施されてゐる現狀であります、しかるに拘らず角一ゴム株式會社に於ては數年來昇給らしきものすらなく入社以來五ヶ年を経過するも未だに臨時工として本給八十錢、手當三十錢、十年以上勤務する者と雖ども一円八十錢程度の賃銀を以て酷使され來つたのでありますすがわれわれはお互ひ相いませしめ出來

得る限り忍從して參つたのであります、ところが誠に突然新機械に依る能率増進を理由として全收入の五割をしむる獎勵金八割の減額されたのであります。

名は獎勵金なる美名でありますすが約十年近きに亘つて實施され定收入としてそれに依り辛うじて生計を維持して來たのでありますからまさに全收入の賃銀の四割五分、五割を値下げされたと同様の暴虐を受けわれわれの生活は根本よりくつがへさるゝに到つたのであります、止むを得ず減額を取消さるゝこと臨時工を本雇に直すことその他十六ヶ項目に亘る歎願書を提出數回に及んで交渉を續けたのでありますが一ヶ項目をも容れらるゝところとならずかへつて従業員の結果を切崩さんとする等逆襲的態度を取るの發表することとなつたのであります。

相當なる營業成績を擧げてゐるにも拘らず時代に逆行してまで尙利益の増加に急なる會社の態度が是か？遠慮勝ちに現状維持世間並